

# 公益信託ENEOS水素基金 第14回助成金贈呈式を開催

JXTG エネルギーは、2006 年より「公益信託 ENEOS 水素基金」を通じて水素エネルギーの供給に関する基礎研究への助成を行っている。年間総額約 5,000 万円（1 件当たりの上限は 1,000 万円）を約 30 年にわたり安定的、継続的に助成することで、水素エネルギーによるサステナブルな社会の早期実現を目指している。今年度は、45 件の応募の中から運営委員による書類審査とプレゼン審査の結果、6 件のテーマが採択された。

11 月 12 日に行われた助成金贈呈式では、委託者である JXTG エネルギーの大田社長から助成対象者に対し、「本基金の助成を最大限に活用して、獨創性・革新性に溢れる研究成果を生み出し、持続可能な社会づくりに貢献していただきたい」との挨拶があった。また、北川進運営委員長（京都大学特別教授）から、「原理を追求することや新規化合物を探索するなど、イノベーションを生み出すようなシーズに繋がる基礎研究を進め、また国際的にも認知される研究になるよう大きく伸ばしていただきたい」との激励のメッセージが贈られた後、目録が贈呈された。

（中央技術研究所 技術戦略室 技術戦略グループ 宇賀神 拓也）

## 2019 年度 研究テーマおよび助成対象者

研究部門	研究テーマおよび助成対象者
水素製造技術	耐腐食能力を持った卑金属を両極に用いた PEM 型水電解による環境に優しい水素製造法の開発 伊藤 良一（筑波大学 数理物質系 准教授）
水素貯蔵・ 輸送に関する技術	水素原子のスピン制御による水素化反応の促進 小倉 正平（東京大学 生産技術研究所 助教）
	金属間化合物を基盤材料とした高効率水素貯蔵システムの開発 古川 森也（北海道大学 触媒科学研究所 触媒材料研究部門 准教授）
CO <sub>2</sub> 固定化・ 削減技術	電気化学的な重合反応を利用した金属錯体光触媒の位置選択的担持による半導体光触媒の高機能化 山崎 康臣（成蹊大学 理工学部 物質生命理工学科 助教）
	光エネルギーを活用する CO <sub>2</sub> の固定化反応 石田 直樹（京都大学大学院 工学研究科 合成・生物化学専攻 講師）
	再生可能水素キャリアとしての利用を指向した水中での直接 CO <sub>2</sub> 活性化によるギ酸合成 森 浩亮（大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 准教授）



2018 年度、2019 年度助成対象者および ENEOS 水素基金関係者